鉄道コレクション対応 点灯化キット 新潟鐵工所軽快気動車 NDC ライトユニット前面窓下車対応

NE-0180_a/c ライトユニット 説明書

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは、新潟鐵工所が製造した18m級の軽快気動車 NDC のうち、ライトが前面窓下のみにある車両に対応します。
具体的な対応車種は下表を参照してください。
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。（チラツキ対策を施しています。）

前面形状	車　種	点灯化キット
	三陸鉄道 36-500 形 ひたちなか海浜鉄道 3710 形 JR 九州キハ 125 形 松浦鉄道 MR-400 形 島原鉄道キハ 2550 形	タイプ A
	※上部にヘッドライト追加 津軽鉄道 21 型 由利高原鉄道 YR-2000 形	タイプ B ［受注生産］
	※ライトが低い 若桜鉄道 WT-3000 形	タイプ C ［受注生産］

前面形状	車　種	点灯化キット
	※ライトが低く、丸形 若桜鉄道 WT2500 形	タイプ D ［生産予定なし］
	※ライトが低い ※上部にヘッドライト追加 山形鉄道 YR-880 形	タイプ E ［受注生産］
	※ヘッドライトが上部のみ 秋田内陸縦貫鉄道 AN-8800 形	タイプ F ［受注生産］

ご注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流（DC）12V以下で運転してください。交流（AC）は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ライトユニット　：　1個/セット

【その他】
・説明書（本紙）　：　1枚
・導電性アルミテープ（15mm×約120mm）　：　3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
・カッティングマット
・ピンセット
・ニッパ
・~~プラスドライバー~~
・両面テープ
・~~木工ボンド~~
・ポリエステルテープ（ニチバン「マイラップ」，セメダイン「ラピー」など）
・カッターナイフ（デザインナイフが望ましい）
・楊枝，綿棒など
・~~ピンバイス（0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm）~~
・~~精密ヤスリ（平、丸、半丸など）~~
・ゴム系接着剤
・~~プラモデル用接着剤~~
・直定規
・塗装面を保護する柔らかい布
・~~ポンチ（プッシュピンなどでも可）~~
・~~サンドペーパー~~
・~~マスキングテープ~~
・~~瞬間接着剤~~
・~~遮光用の塗料（黒または銀）~~

●取り付け手順

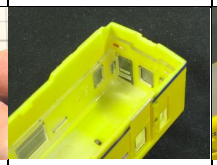
この色の項目は、タイプ C（下部ライトの位置が低い）の場合のみ作業します。

1. 分解する

1-1 床板を外す

車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1-2 側窓を外す



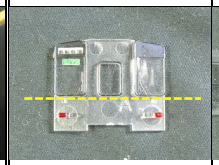
側窓を外します。
前面との噛み合いがきつい場合は、噛み合い部の突起をカッターで少し削ります。

1-3 前面透明パーツを外す

前面窓・ライトレンズなどの前面透明パーツを、外側から楊枝などを使って押して外します。

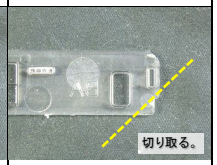
2. 車体を加工する

2-1 前面透明パーツの加工



前面窓の直下で、上下に分割します。
ライトレンズ部分は使用しないので、保管します。

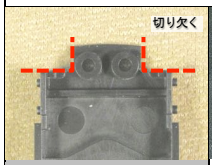
2-2 側窓を加工する



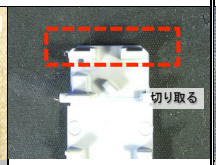
側窓前端を下から2mm程切り取ります。
丸印の中心を目安にカットします。

3a. 床板を加工する

（トレーラー車の場合）



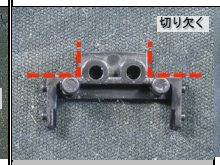
床板前端の両サイドを切り欠きます。
枕木方向はダミーカプラーの取付け穴まで、線路方向はTNカプラーの台座の手前まで切り欠きます。



シートの前端を約2mm切り取ります。

3b. 動力ユニットを加工する

（動力ユニットを組み込む場合）

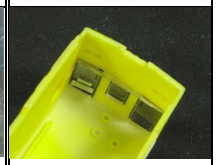


動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。
枕木方向はダミーカプラーの取付け穴まで、線路方向はTNカプラーの台座の手前まで切り欠きます。

動力ユニットの前端、スペーサーの取り付け穴より外側を切り取ります。

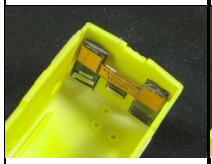
4. ライトユニットの取付

4-1 前面窓をはめる



前面窓をはめます。
必要に応じて、両面テープ片で固定します。

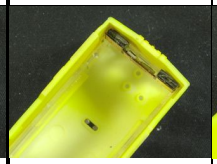
4-2 基板を設置する



ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープ片で固定します。
なお、車体の材質が透過性の高い車種の場合、ライト周辺の車体内側を黒又は銀で塗装することで遮光できます。

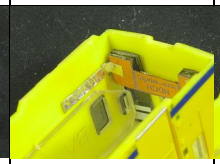
5. 配線する

5-1 側窓をはめる



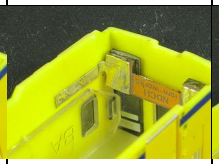
側窓をはめます。
固定が緩い場合は、両面テープ片を使って固定します。

5-2 ライトユニットへ配線する



1.5mm×12mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。
※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

5-3 給電パッドの重ね貼り



ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×4.5mmのアルミテープを重ね貼りします。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

5-4 側窓下の凸部にアルミテープを貼る

床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が凸部の端に接下するように貼ります。

5-5 側窓下をアルミテープで結ぶ

車体の四隅の嵌合部に貼ります。

※通電が不安定で、他の箇所のアルミテープの圧着等を行なっても改善しない場合、このテープをもう1枚貼ると改善する場合があります。4-5のテープの上からで結構です。

室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。

3mm×110mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部、室内灯の配線の4ヶ所を、一気に接続するように貼ります。

※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●片エンド用の場合の追加遮光（室内灯を取り付ける場合）

片エンド用に室内灯を取付ける場合、点灯化しない方のライトレンズから光が漏れるので、ポリエステルテープで遮光します。

NE-0180_a/c 説明書 2.10
2015/04/20 1.00 初版
2017/08/25 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版
2021/01/25 2.10 改番

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15, 店舗営業はしていません。
phone：0468-27-7261, 10:00～18:00 土日祝休業, e-mail：shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp